

玄武洞の崩落

1998年9月3日、岩手県北部の葛根田からそう遠くない場所でマグニチュード6.2の地震が発生し、付近に断層線を形成しました。葛根田付近の断層は、地震による揺れと地殻変動によって開いたと考えられています。それからちょうど1年後の1999年9月3日、葛根田の巨大な洞窟・玄武洞を支える岩盤が崩落しました。この崩落による堆積物とがれきが近くの川を塞いだため、一時的に川筋が変わりました。

写真タイトル：柱状節理の形成

キャプション：図のように、溶岩は冷えると矢印の方向に縮みます。